

平成26年第1回 幸手市教育委員会定例会会議録						
召 集 期 日		平成26年1月14日（火）午前10時00分				
開 会 場 所		市役所第二庁舎2階 第2会議室				
開会の日時・宣告者		平成26年1月14日（火）午前10時00分			梨本松男	
閉会の日時・宣告者		平成26年1月14日（火）午前11時40分			梨本松男	
委員出席状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	委 員 長	梨本松男	出席	教育委員	赤川昌行	出席
	職務代理	石井澄江	出席	教 育 長	戸田幸男	出席
	教育委員	巻島幸男	出席	書記：大竹孝典		
議事参与者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 次 長	大澤一男				
	総 務 課 長	木村卓朗				
	学校教育課長	高野治				
	社会教育課長	金子光夫				
	学校教育課副参事兼吉田幼稚園長	槇島玲子				
	公民館長兼勤労青少年ホーム館長	山野井孝示				
	図 書 館 長	高橋彰彦				

会 議 事 件 名	顛	末
開 会 午前 10 時 00 分	委員長 開会を宣する。	
日程第 1 前回会議録承認	委員長 前回会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。	
日程第 2 議 事 議案第 1 号 学校給食費額の改定について	総務課長 議案書により説明する。 《質疑》 職務代理 今年度から始まった給食費補助の補助額と対象人数を伺う。 総務課長 9 月末と 3 月末に交付するため総額は出ないが、予算的には 2, 2 3 3 万円を計上しており、最終的に 1 年間で交付する額は、2, 0 0 0 万円程度の支出になると見込んでいる。 対象人数についても転出入等の異動があるため、確定した数字は出ないが、二人目補助の子どもが小学校 8 0 0 人、中学校 1 0 0 人、三人目については小学校 1 0 0 人、中学校 0 人を予定している。 職務代理 物価の上昇や消費税増税などを考慮すると、給食費が 3 0 0 円増額となるのはやむを得ないと思うが、今後の給食費改定にあたっては、給食費補助とのバランスも見ながら検討していただきたい。 巻島委員 私も給食費の増額は、経済の動向を考えるとやむを得ないと思う。最近では飲食店などの産地偽装問題もあるので、食の安全をより一層強化していただきたい。 赤川委員 給食費の改定額については、過去の改定額の状況や今後の消費税 1 0 %などを考えると、妥当ではないかと思う。 また、給食を食べない場合、返金されるのであれば、保護	

者も納得するのではないか。

給食実施回数が、改定前の平成17年度に比べて平成26年度(案)は減っているが、どのように算出したのか伺う。
また、今年度から本格実施となった土曜授業日の給食実施状況を伺う。

総務課長

平成17年度の小・中学校各191回という数は、当時の予定数で、実際は遠足や陸上競技大会、部活動の県大会等で提供しない日があり、実数は少なくなっている。平成26年度(案)の数は、これを考慮に入れて実際に実施する給食回数を数えた結果、小学校187回、中学校186回と算出した。

土曜授業日の給食実施回数は、小学校9校で合計16回、中学校3校で合計9回である。これについては、予定回数に追加する形で実施しているところが多い。

返金については、五日以上の病気や転出入等で予め食べないことが分かっている場合は、給食の単価に日数を乗じた額を返金している。また、アレルギーで牛乳を採らない場合なども、牛乳分などを返金するような対応をとっている。

教育長

幸手市では、学期の切り替わりや長期休暇明けには、出来るだけ早く給食を開始するようにしている。また、行事等で1学年しか登校していない場合でも、出来るだけ給食を提供するようにしている。

給食費と実施回数の兼ね合いについては色々な考え方があるが、例えば、規模の大きな学校は、仕入れ値が下がることで実質の一食あたり単価が下がるが、小さな学校では逆に高くなり、回数を増やすことが出来ないということがある。また、中学校などでは食育の観点から、たまに弁当持参とする学校もある。

実施回数を一概に増やせば良いというものではないが、幸手市は他市町と比較すると回数は多いということでご理解いただきたい。

《採決》 全員賛成により原案どおり議決。

議案第 2 号 幸手市立図書館設置条例の一部を改正する条例	社会教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 なし 《採決》 全員賛成により原案どおり議決。
専決報告第 1 号 教育長の専決処理に対する報告について	総務課長 パート職員（用務員）の任免について説明する。 学校教育課長 パート職員（保育補助）の任免について説明する。 《質疑》 なし
日程第 3 行政報告 1 教育長報告	教育長 全国学力テストおよび埼玉県学力学習状況調査の参加及び結果の取扱い等については、次回の定例会で協議願いたい。 《質疑》 なし
2 事務局からの 主要な報告	学校教育課長 1 平成 25 年度幸手市児童生徒の新体力テストの結果について 2 平成 26 年度小・中学校児童生徒見込み数について 3 幸手市いじめの防止等のための基本的な方針について 4 1 月中旬から 2 月中旬の行事予定について資料により説明する。 学校教育課副参事兼吉田幼稚園長 1 2 月の行事、及び 1 月の行事予定等について資料により説明する。 社会教育課長 1 1 月の行事 2 体育施設利用状況について資料により説明する。 公民館長兼勤労青少年ホーム館長 1 1 2 月の主な行事 2 1 月の主な行事予定 3 各公民館の 1 2 月利用状況について資料により説明する。

	図書館長 1 12月利用状況 2 1月事業予定 について資料により説明する。 《質疑》 巻島委員 平成25年度幸手市児童生徒の新体力テストの結果を見ると、中学生についてはまだ伸び代があると思う。やる気にさせる授業が出来れば更に伸びると思うので、是非取り組んでいただきたい。 それから、いじめについて、最近大きな事案はあったのか伺う。 学校教育課長 特に大きな報告は上がっていない。 赤川委員 体力向上に向けた取組として今年度、市として何を課題とし、どのような取組を行ったかを伺う。 学校教育課長 県の課題でもある「ボール投げ」を中心に、投げ方指導等を行った。また、中学校については、やる気を高めて持続できるよう持久走を行ったり、日々の授業の中で興味・関心を高めながら、向上する喜びを感じられるような工夫を行った。 職務代理 特別支援学級の構成について伺う。 学校教育課長 特別支援学級は、1学級8人以内で構成されており、種別としては、知的障害児学級や自閉症・情緒障害学級等がある。 職務代理 特別支援学級が増えることで、通常学級も特別支援学級もより子どもに合わせた授業が出来るようになると思うが、外に良かった点はあるか。 学校教育課長 手をつなぐ子らの作品展を見ていただくと子どもの成長を感じていただけたと思う。通常学級から特別支援学級に移ったことで、生き生きと活動する場が増え、更には進学を希望する子どもも出てきている。
--	---

日程第 4 協議事項 次回定例会の日程について 日程第 5 その他	職務代理 通常学級と特別支援学級が交流する機会はあるのか。 学校教育課長 特別支援学級がある学校については、通級学級で交流している。 職務代理 成人式の参加状況について伺う。 社会教育課長 昨年は 382 名の参加で、率で言うと 76.2% だった。 今年は 383 名の参加で、73.9% の参加率となった。 職務代理 来賓の方の挨拶は、大変素晴らしい話が多かったので、成人される方には是非聞いていただきたいと思う。100% 参加していただけるよう今後も努力してほしい。 委員長 公民館の主催事業は、中央公民館以外で開催するのは難しいのか。 公民館長兼勤労青少年ホーム館長 中央公民館を中心として、南・西・北公民館の利用はある。ただし、東公民館については、場所が遠いなどの理由で、足が遠のいている。ただ、東公民館から公民館クラブ連絡協議会への入会が、前回までは一つだったところ、今では三つまで増えており、今後も東公民館の利用率が増えるよう努力していく。 委員長 各委員の意見を調整した結果、次のとおり決定する。 第 2 回教育委員会定例会 日時 平成 26 年 2 月 10 日（月）午前 10 時～ 場所 西中学校 会議室 ※給食の試食を予定 赤川委員 学力向上推進協議会の活動状況について伺う。 学校教育課長 学力向上に向けたモデル事業として、さくら小学校を指定校として研究を進めている。また、学力向上推進協議会の中で、さくら小学校からの研究報告を受けて、地域や子ども
--	---

閉 会 午前 11 時 40 分	もの実態に合わせて他の学校でも活かせる取組を出し合いながら、参考にできる場として年 4 回開催している。 赤川委員 全ての学校で四つの目標を実践しているのか。 学校教育課長 さくら小学校が掲げた四つの目標のうち、各学校はそこから自校にあったものを選択して実践し、報告することとなっている。 委員長 閉会を宣す。
------------------------------------	--

他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項	な し
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。 平成26年 2月10日 委 員 長 梨 本 松 男 署 名 委 員 石 井 澄 江 署 名 委 員 卷 島 幸 男 署 名 委 員 赤 川 昌 行 署 名 委 員 戸 田 幸 男 会議録調整職員 大 竹 孝 典